

## 第2回 NEXT 長崎ミーティングの実施結果

1. 日 時：令和3年8月2日（月）19：00～21：00  
(希望者のみ22時まで延長して実施)
  2. テーマ：「長崎の魅力ってなんだろう」
  3. 方 法：オンラインビデオ会議システム「Webex」により実施
  4. 参加者：20名
    - ・公募メンバー：11名（社会人7名、学生4名）
    - ・まちづくり等に携わっているメンバー：5名（社会人4名、学生1名）
    - ・県職員メンバー：3名
    - ・サポートメンバー：1名
- ※第1回公募メンバーのうち希望者も Webex 上の別会場で参加し、21時以降第2回ミーティングに合流参加した。

### 5. 主な意見

#### 【長崎や地域の魅力に触れる・知る機会】

- ・他県では、小さい頃から地域の魅力や面白さなど身近なところで地元への愛着を感じる機会があり、自分の県が好きと答える人が多いところもある。長崎でも子どもに地域の魅力を伝える環境がもっとあればよいのでは。若い頃に良いイメージが無ければ将来戻ってくる人も少なくなるのではないか。
- ・進学や就職で県外に出ていく傾向にあるのは、長崎の良さを知らないからではないか。同じ県内でも他の地域のことは知らないことも多いため、魅力を知ることができる機会があると良い。
- ・大学生になって企業の人達と関わる機会があり、県内にも魅力的な企業があると気付いた。地域のことに興味を持ってくれるように誘導することが、県や大人がやるべきことではないか。

#### 【つながりの場】

- ・長崎をよくしたいと思って動くためには、長崎の魅力に気づくきっかけに加えて、アクションにつなげるための場や仲間づくりも大切。長崎が好きという思いでゆるくつながれる場があればいいと思うし、このミーティングが一步を踏み出すきっかけになれば。できればこの場の皆さんと小さなことでも何かできたら。
- ・若者に長崎に残ってもらうためにということだと抵抗感がある。関係人口を増やしたり、将来的に戻ってきてもらうためといったゆるいつながりによって、自主的に戻って来ることになるのでは。
- ・社会人になると、コミュニティが会社に偏ってしまう。会社以外のコミュニティを持つこと、長崎の好き嫌いに関わらず趣味など含めて一緒になって語れるコミュニティの場がいろいろなところに数多くあることによって、その

人達に会いたい、一緒に語りたいという気持ちが出てきて、長崎に残るきっかけになっていく。

- 学校や職場以外のつながる場が欲しい。強制的ではなく、ゆるいつながりの中で皆の心のよりどころになっていくのでは。このミーティングもそのような場になる。
- いったん地元を離れて考えてみると、今まで続いてきたコミュニティに強みはあるが、新たに参加する難しさもある。つながりを新たに持つということは、これまでの歴史がないということも強み。そこから新しいつながりが広がっていけば良いのでは。
- 新しく地域に入ってきた人や若い人達からすると、既存のコミュニティに入りにくいという感覚もある。
- 他の地域やコミュニティなどとの相対化、比較するからこそ見えてくることもある。

#### 【長崎の魅力・発信力】

- 多くの観光地、自然、異文化交流、平和のメッセージカ、人の温かさなど魅力や特色は多くある。魅力はたくさんあるがしっかり発信していくことも大切。
- 多くの観光施設があるが、魅力的な人に会いに行きたくなるような長崎になって、関係人口が増えていけば。
- 他県にいるからこそ発信できることもある。県外に出た大学生が地域の魅力をSNSなどを使って発信していくのも良いのでは。
- 地元の人にとっては当たり前なことでも、よそ者目線で見ると違った視点で見えることもある。
- 長崎ならではの働く場などを発信していくことも必要では。
- 観光は外から来る面もあるが、受入側のマインドも育てる面もある。
- 観光客は地域とのふれあいを求めていたりするので、地域の人たちが受入態勢を整えることで、自分のまちを知ったり、好きになったりする相乗効果が発揮できれば良いのでは。

#### 6. その他

- 第3回は9月に開催予定。
- テーマはこれまでのミーティングの内容を踏まえて検討し決定。